



株主・投資家の皆様へ

第103期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



- P1 株主・投資家の皆様へ
- P3 連結業績ハイライト
- P5 Topics
- P7 企業情報

株主・投資家の皆様へ

独創力で、 “一步先行く提案”型企業へ

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第103期第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における事業の概況と業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 兼 C.E.O. **田中直人**



■第2四半期連結累計期間の概要

当期間におけるわが国経済は、経済活動の制限緩和、正常化に伴い個人消費が持ち直しの動きを見せる等、緩やかな回復基調で推移しております。海外経済は、欧米を中心に持ち直しが続いておりますが、世界的なインフレ圧力の高まりを受けた各国の急激な金融引き締め、金利上昇が景気の下振れリスクとなっております。

このような状況下、当期間の当社グループの売上高は前年同期比23.9%増収の312億97百万円、営業利益は同15.2%増益の43億71百万円、経常利益は同33.1%増益の54億80百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は

同26.0%増益の37億7百万円と、いずれも前年を上回りました。また、売上高及び全ての利益段階で過去最高を記録する等、世界経済のコロナ禍からの回復を背景に海外需要が業績を牽引し、高い水準となりました。

■長期ビジョン「Challenge 1000」について

四国化成グループは企業理念「独創力」の下、2020年4月から10年間の長期ビジョン「Challenge 1000」に取り組んでおり、明確に積極経営へと舵を切りました。2030年にありたい姿として、「独創力で、“一步先行く提案”型企業へ」を掲げ、独創的なアイデアで社会課題を

四国化成グループ長期ビジョン **Challenge 1000**

当社グループは、新たなステージへの飛躍を目指し、2030年を見据えた長期ビジョン「Challenge 1000」を策定。中期経営計画だけでは描き切れなかった長期的な視点から、目指す姿を設定し、飛躍的な成長を実現していきます。

企業理念



私たちは常に独創性を重んじ、これを会社発展の原動力とする。

- ・「独創力」は、未来永劫掲げていく四国化成グループの理念
- ・二硫化炭素の革新的な製法の発明に始まり、その後も節々で独創性の発揮を成長の礎、発展の力としてきた
- ・一人ひとりの持つ知恵を結集し、思いもよらない発想で常に新たな道を切り拓いてゆく

2030年に
ありたい姿

独創力で、“一步先行く提案”型企業へ

独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界をリードする

解決していく企業となることを目指しています。

「Challenge 1000」では、長期的視点に立った事業変革方針はもとより、人財づくりや風土づくりといった全社変革方針を策定し、それらの実践による飛躍的な成長を目指します。2030年に達成すべき財務目標として「売上高1,000億円、営業利益150億円、ROE10%以上」を掲げ、その達成や次代を担う新規事業の育成に向けて、設備投資や研究開発投資の積極的な投入を図っていきます。あわせて、ESG(環境・社会・ガバナンス)といった非財務目標の視点も高く持ち、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも取り組んでいます。

こうした取り組みは、良き企業市民として、顧客、従業員、株主、及び社会の各ステークホルダーに貢献していくこととした企業の活動方針「四方よし」に根ざすものです。お客様には「一歩先の価値」を、従業員には「挑戦と成長」を、株主の皆様にはより一層の「利益還元」を、そして社会には「より良い明日」を届けてまいります。例えば社会・地域貢献については、経常利益の1%を社会貢献に活用することを基本に、自治体との連携や地域イベントへの協賛を行っております。

当社は2023年1月1日より持株会社体制へ移行し、新生四国化成グループとして再スタートを切ることといたしました。これまで、化学品事業と建材事業を二つの中核事業として一元的に運営してまいりましたが、長期ビジョン「Challenge 1000」を達成するにあたり、収益性

や事業環境の異なる各事業が互いに支え合うという現状から、それぞれの事業が更に専門性を高め、スピーディな意思決定と効率的な事業活動を行える体制づくりが必要と判断いたしました。長期ビジョン「Challenge 1000」の達成と、百年企業に向けた飛躍を確実なものとするため、新たな体制の下、柔軟で強靱な事業運営を実現・実践してまいります。

■株主還元の基本方針について

企業行動指針「四方よし」の一つである、株主の皆様への還元につきましては、その基本方針として、2030年に至る長期ビジョン「Challenge 1000」の期間中において「連結業績を基準として、総還元性向50%」を掲げています。

この基本方針に沿って、本年8月に13億28百万円の自己株式を取得、9月9日には発行済株式総数(消却前)の1.9%にあたる104万5千株を消却いたしました。

2022年12月期の中間配当金につきましては、株主還元基本方針や通期業績見込み、財務状況等に鑑み、4月28日公表の配当予想通り、創業75周年の記念配当として1円を増配し、1株につき13円とさせていただきます。

株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

四方よし

当社グループは、価値の提供や貢献の対象として4つのステークホルダーを意識する「四方よし」を企業活動方針に掲げています。

顧客

一歩先の価値を

独創的で最先端の製品・サービスで、新たな価値をご提供いたします

従業員

挑戦と成長を

多様な働き方と挑戦による成長を実感できる環境をつくり、豊かな人生を応援します

株主

利益還元を

連結業績を基準として、総還元性向50%を目指します

社会

より良い明日を

社会課題の解決に貢献し、豊かな生活環境を実現いたします

財務目標 (2029年12月期・連結)

売上高

1,000億円

営業利益

150億円

ROE

10%以上

SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

四国化成グループは、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までに達成すべき17の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を重要課題と認識しています。事業活動を通じSDGsの達成に向け取り組んでいきます。

「CSR報告書2022」を発行



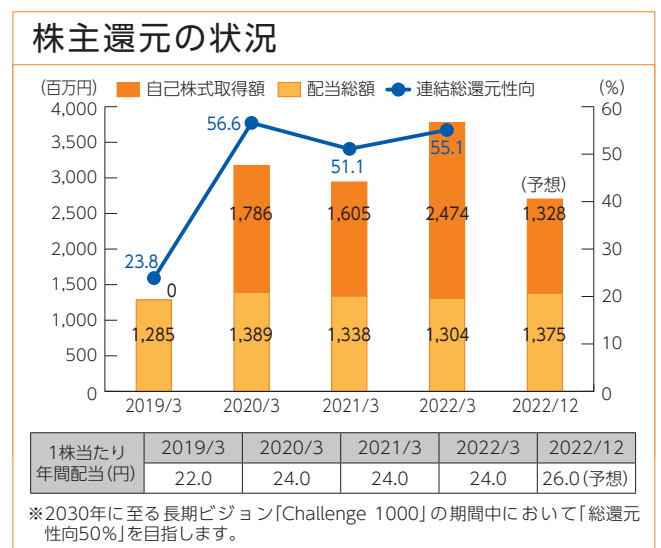
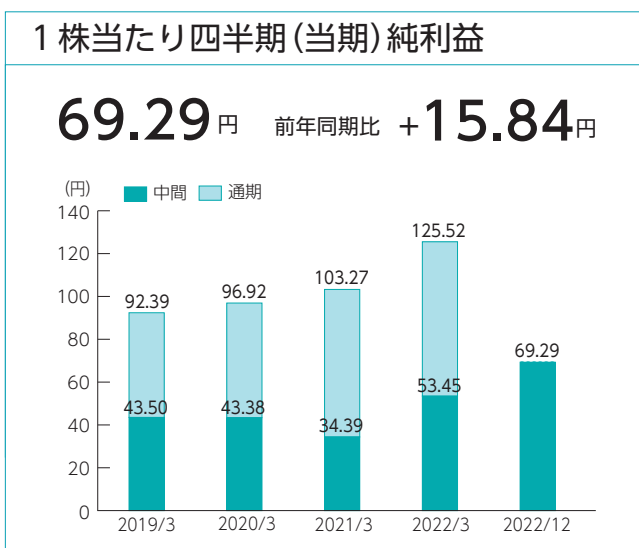
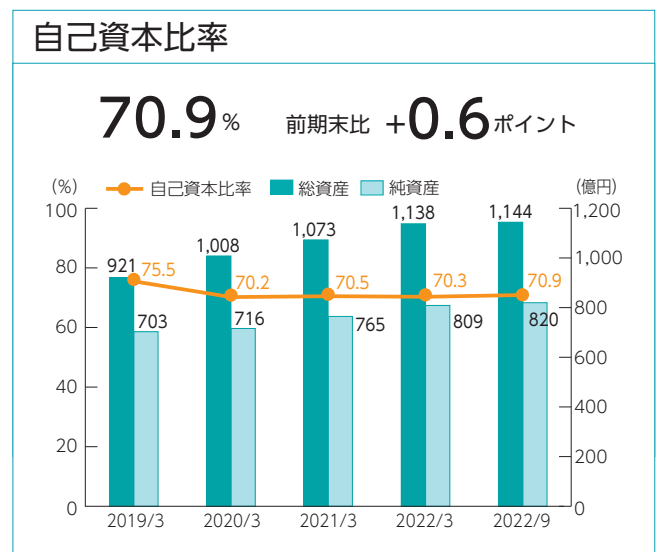
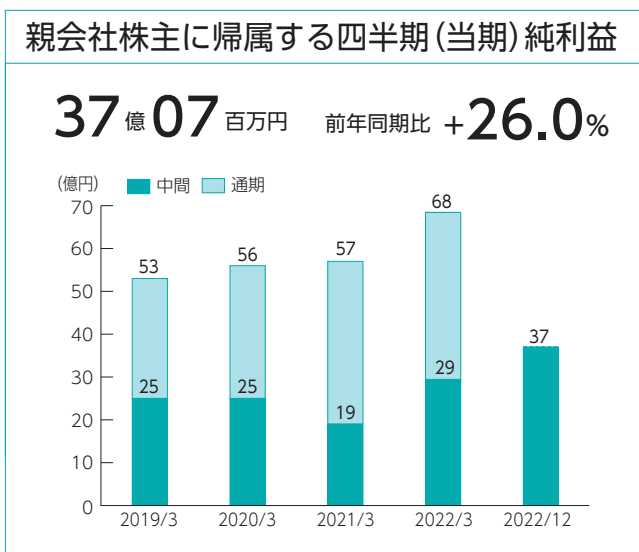
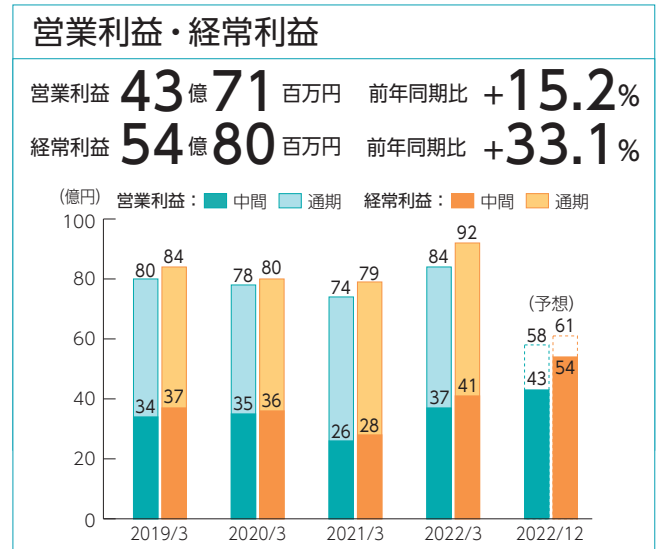
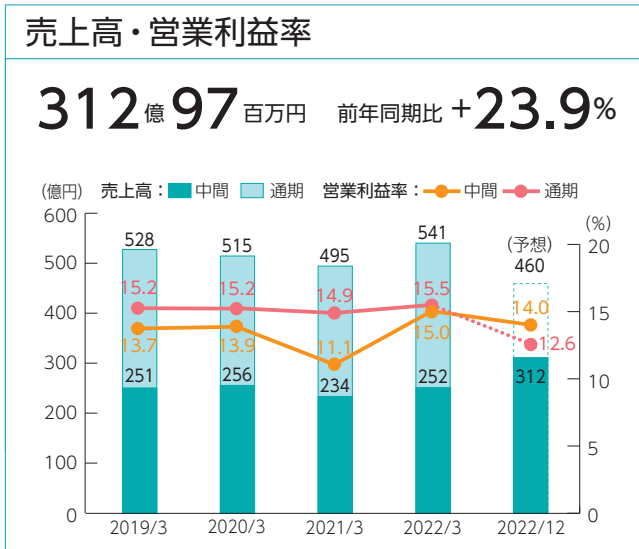
「マテリアリティの特定」に関する項目などを加えた当社グループの社会的な取り組みをまとめたCSR報告書2022を発行しました。



第2四半期業績のポイント

- 第2四半期として、売上高及び全ての利益段階で過去最高を更新
- 1株当たりの年間配当金は75周年記念配当として2円増配の26円(年間)

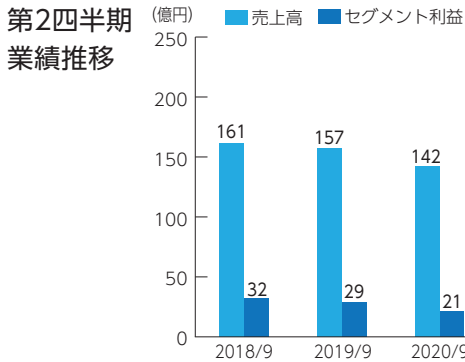
※第103期より決算期を12月に変更するため、当期は9カ月決算となります。
※グラフ中の金額は、億円未満を切り捨てて記載しております。



セグメント別事業概況

化学品事業

売上高 **223億30** 百万円
セグメント利益 **45億21** 百万円



不溶性硫黄は半導体不足による自動車生産の落ち込み等の影響を受けたものの、販売は概ね前年並みで推移しました。塩素化イソシアヌル酸は、国内プール薬剤の販売回復があったほか、主力の米国市場は活況が続いており、資源価格や物流コスト高騰への価格転嫁が進み、売上、利益ともに前年を上回りました。ファインケミカルでは、タフエースを中心とする電子化学材料は上海ロックダウンや半導体市場の調整等を受けて伸び悩みましたが、イミダゾール類や樹脂改質材、半導体プロセス材料を中心とする機能材料では、樹脂改質剤の需要が好調で前年を大きく上回りました。

この結果、化学品事業の売上高は223億30百万円 前年同期比36.1%の増収、セグメント利益は45億21百万円 前年同期比25.1%の増益と、いずれも前年を上回りました。

主要製品



無機化学品

- 不溶性硫黄 (ゴム加硫剤)
- 二硫化炭素 (化学繊維レーヨンの原料)
- 無水芒硝 (入浴剤の温浴効果促進剤、合成洗剤の洗浄助剤)



有機化学品

- 塩素化イソシアヌル酸 (プール・浄化槽の殺菌・消毒剤、船舶バラスト水の塩素処理剤)



ファインケミカル

- 電子化学材料 (プリント配線板向け耐熱型水溶性防錆剤)
- 機能材料 (エポキシ樹脂の硬化剤、樹脂改質剤、半導体プロセス材料)

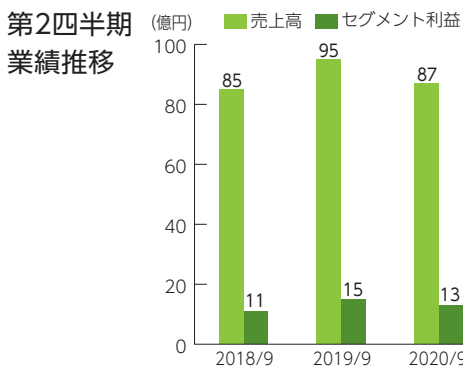
化学品事業 71.3%

売上高
構成比



建材事業

売上高 **84億32** 百万円
セグメント利益 **7億58** 百万円



新設住宅着工戸数は持家の着工が弱い動きを続けており、壁材、エクステリアともに需要は低調に推移しましたが、当期4月に実施した価格改定が浸透し、売上高は前年を上回りました。一方、原材料費の急激な上昇は価格改定で吸収しきれず、利益面では前年を下回りました。

この結果、建材事業の売上高は84億32百万円 前年同期比2.8%の増収、セグメント利益は7億58百万円 前年同期比28.3%の減益となりました。

主要製品



エクステリア

- 住宅エクステリア (門扉、フェンス、カーポート、アコーディオン門扉、テラス、アルミシステム塀)
- 景観エクステリア (大型門扉、大型フェンス、通路用シェルター、自転車置場、ゴミ集積庫、屋上緑化等)



壁材

- 内装材、外装材、舗装材

Topics 1

一般家庭向け製品『WASHMANIA 洗濯槽クリーナー』を発売 高塩素と強アルカリを両立し、高い洗浄力を発揮



洗濯機は、
どこまで美しく
なれるのか。

2022年10月、当社化学品事業で初めての一般家庭向け自社ブランド『WASHMANIA(ウォッシュマニア)』の第一弾製品として洗濯槽クリーナーの販売を開始しました。四国化成 楽天市場店(ECサイト・楽天市場)にてご購入いただけます。

『WASHMANIA』は、“世界中に、もっとキレイを届けたい”をコンセプトに新たに立ち上げた家庭用洗剤のブランドです。このたび発売した洗濯槽クリーナーは、従来の技術では困難であった顆粒での高塩素と強アルカリを両立した製品で、これにより高い洗浄力を発揮します。当社が長年培ってきた塩素に関する革新的な技術やノウハウを活用し、高塩素と強アルカリによる強力な除菌・洗浄作用で、洗濯槽の黒カビ汚れを分解・除去、気になる臭いもしっかり消臭する洗濯槽クリーナーが誕生しました。

当社は、1964年に国内で初めて塩素化イソシアヌル酸の量産化に成功。これを原料にプールの水を衛生的に保つ殺菌・消毒剤「ネオクロール」など長年の実績を誇り、塩素のプロフェッショナルとして国内外から厚い信頼を獲得してまいりました。当社ならではの研究開発力に

裏打ちされた革新的な技術やノウハウを応用し、本物のキレイ好き、洗剤フリークの方にもご納得いただける高い洗浄力を提供する家庭用洗剤ブランド『WASHMANIA』を立ち上げました。これを機に一般消費者向け(BtoC)市場に本格参入、更なる事業領域の拡大を目指してまいります。

塩素化イソシアヌル酸は有機化成品事業の主力製品であり、同事業は長期ビジョン「Challenge 1000」において「環境・衛生を守り、世界中の人にキレイを届ける事業」を目指しています。家庭の衛生意識の高まりから除菌・洗浄需要は更なる拡大が見込まれており、サニタリー製品をはじめとする高付加価値分野へと引き続きグローバルに事業の拡大に取り組んでまいります。



WASHMANIA 洗濯槽クリーナー
四国化成 楽天市場店



特設サイトは
こちら

Topics 2

市街地活性化へ産官学で連携 「パークレット」を活用した社会実験を実施

当社は、本年2月に「丸亀市の賑わいあるまちづくりに関する連携協定」を締結した香川県丸亀市や香川大学などと連携し、この秋、丸亀市みなと公園とその周辺にて屋外公共空間活用を目的とした社会実験を実施いたしました。

みなと公園は丸亀駅と丸亀港の間に位置しており、瀬戸内国際芸術祭2022の秋会期開催地、本島への離発着拠点である丸亀港に戻ってきた人々などが、まっすぐ帰るだけでなく「せっかくだから少し寄り道しようか」という気持ちになれるような空間を目指しました。公園には当社が現物寄付したパークレットを設置したほか、期間中の週末にはイベントを開催し、丸亀市にちなんだ食の提供や体験イベント、道路空間の芝生広場化を実施いたしました。今回の社会実験を通じて、観光客・地域住民の皆様のニーズや集客効果を検証し、パークレットを活用した今後の丸亀市の賑わいづくりにつなげてまいります。

丸亀市は、当社創業の地であり、現在に至るまで本社や主要工場では多くの従業員が働いており、当社にとってとても関わりが深い街です。また、当社は2030年にありたい姿を示した長期ビジョン「Challenge 1000」を掲げ、その基本方針をお客様、従業員、株主様に社会を加えた「四方よし」の実現と

しています。これからも社会と共に生きる企業として、当社の事業活動が地域社会の発展に貢献できるよう尽力してまいります。



Topics 3

長期ビジョン「Challenge 1000」の達成に向け、 積極的な成長投資を決定

6月23日開催の取締役会にて、主力製品である不溶性硫黄と塩素化イソシアヌル酸の設備増強を行うことを決定いたしました。

タイヤ市場では高性能タイヤの需要伸長に伴い、その原料である不溶性硫黄にも更なる高品質化が求められています。これに対応すべく丸亀工場内に不溶性硫黄の生産設備を投資額45億円で新設いたします。操業開始は2024年12月の予定です。生産能力は現在の1.2倍となり、生産技術の高度化を図りつつ、拡販によるシェア獲得を目指してまいります。

一方、徳島工場では、7月に稼働開始した塩素化イソシアヌル酸の生産設備「NEO 2022」に続き、旧プラントを改修し同製品の生産能力を増強いたします。投資額は16億円で2023年10月には「NEO 2022」と合わせて生産能力は現在の1.6倍となる予定です。コロナ禍を契機に家庭の衛生意識の高まりから除菌・

洗浄需要は更に拡大することが見込まれ、有機化成品ではサニタリー商品をはじめとする高付加価値分野へと事業を拡大しています。



不溶性硫黄



塩素化イソシアヌル酸「ネオクロール」

◆ 会社概要

会社設立	1947年10月10日
本社所在地	香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
資本金	68億67百万円
グループ従業員数	1,227名

◆ 役員

代表取締役社長 兼 C.E.O.	田中直人
取締役 常務執行役員	松原純
取締役 常務執行役員	渡邊充範
取締役 執行役員	濱崎誠
取締役 執行役員	眞鍋宣訓
取締役 執行役員	遠所裕
取締役 執行役員	平尾浩彦
取締役 執行役員	井出浩孝
取締役 (社外取締役)	原田秀逸
取締役 (社外取締役)	馬詰憲彦
取締役 (社外取締役)	古澤実
取締役 (社外取締役)	森清
常勤監査役	片山和彦
常勤監査役	田邊賢次
監査役 (社外監査役)	西原孝治
監査役 (社外監査役)	籠池信宏
執行役員	池田雄一
執行役員	安藤慶明

◆ 株主メモ

- 事業年度 1月1日から12月31日まで^{*1}
- 定時株主総会 毎年3月
- 基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当 12月31日
中間配当 6月30日^{*2}
このほか必要ある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
^{*1} 第103期の事業年度は2022年4月1日から12月31日までの9カ月
^{*2} 第103期の中間配当の基準日は9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先および照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間 9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)
- 公告方法 当社のホームページに電子公告として掲載いたします。
<https://www.shikoku.co.jp>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

◆ 株主優待制度について

2022年6月、期末現在における1,000株以上保有の株主様を対象に、地元香川の特産品である讃岐うどん(3,000円相当)をお届けいたしました。

◆ 株式の状況

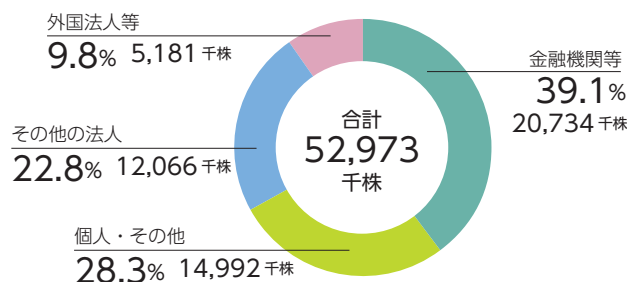
発行可能株式総数	235,850,000株
発行済株式の総数 (自己株式数65,702株を除く)	52,907,861株
株主数	4,375名

◆ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日清紡ホールディングス株式会社	5,580	10.54
シコク共栄会	4,540	8.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,360	8.24
日本生命保険相互会社	3,295	6.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	2,640	4.99
株式会社香川銀行	2,500	4.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,254	4.26
株式会社伊予銀行	1,500	2.83
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA GENEVA - SEGREG HK IND1 CLT ASSET	1,056	1.99
株式会社三菱UFJ銀行	947	1.79

- (注) ● 持株比率は自己株式(65,702株)を控除して計算しております。
● 上記自己株式には、株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式140,275株は含めておりません。
● 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)の持株数には、株式会社百十四銀行が自己名義で保有している300千株を含めて記載しております。

◆ 所有者別株式分布状況



<株式に関する各種手続き>

【住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金のお支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。